


ふりがな 氏名	いその ともたか	都道府県	大阪府	
	<b>磯野 智貴</b>			
所属/肩書	<b>立命館大学国際関係学部在学、大学 ASPnet</b>			
私の ESD活動	<b>ASPnet (ユネスコスクール) 高校生国際フォーラムの本番及び準備セミナーのサポート</b>			

#### 活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

高校生の時、ユネスコスクールに通っていた私は、リトアニアでのバルト海沿岸 9 ヶ国 ASPnet 校の高校生が集まる国際会議に出席し、ESD について一緒に学びました。その後、2008 年大阪での UNESCO ASPnet アジア北欧 7 ヶ国高校生国際会議にて議長と運営を経験させて頂きました。こうした ESD との出会いは私にとって“自分が成長する・変わる”大きなものでした。このような ESD の学びを大学生になっても継続していきたい、高校生にも伝えていきたいと思い、大学に入ってから『大学 ASPnet』というユネスコスクール出身の大学生を中心とした、ESD に関しての勉強及びユネスコスクール生徒の ESD、ユネスコ活動のサポートを行なう団体で活動しています。

2014 年 11 月岡山市にて「世界ユネスコスクール大会」が開催されます。世界 34 ヶ国の ASPnet 校から高校生が集い、「持続可能な社会」について熱い議論を交わす予定です。

ユネスコスクール支援大学の 1 つである大阪府立大学は文部科学省とのパートナーシップ事業として、世界ユネスコスクール大会の準備・運営ができる高校生の育成を 2012 年から『ユネスコ準備セミナー』として、実施しています。大学 ASPnet では準備セミナーの立ち上げから参加させて頂き、“サポート大学生”として高校生たちをサポートさせて頂いています。私たちは一から ESD を学び、また各係(運営や撮影班、受付案内係など)にそれぞれ入り高校生たちがどのような気づきをしているのか、ESD をどう捉えて理解しているのかを分析し、サポートに活かしています。プレイベントとして 2013 年 1 月には日中韓 3 ヶ国国際会議が、11 月には 8 ヶ国国際会議が無事に成功しました。

このセミナーや国際会議を通して、体的に「ESD とは何か？」を高校生たちから学んでいます。

#### 今後のESDの発展のために、若者はどのような役割を担えますか？

これまで高校生のESD活動のサポートを経験させて頂いて大きく驚いたのが、参加する高校生たちの成長の仕方です。国際会議を運営する高校生1人1人がESDを頭で理解するだけではなく、自らの行動や姿勢でそれぞれの係の中で表現していました。その様子を見て、ESDには人を大きく成長させる要素がある、きっかけがあると感じました。私自身もその一人だと思っています。

ESDを知る若者の役割として、私たちはまだ知らない若者や次の世代の人にESDのフィールドへと導く役割があると思っています。ESDという言葉や考えを知らない周りの人に伝えていく、またESDに関心のある人が身近に参加できる下地を作っていくことが重要なのではないのでしょうか？そのためには「ESDとは何か」を1人1人が深く理解する必要があると思っています。